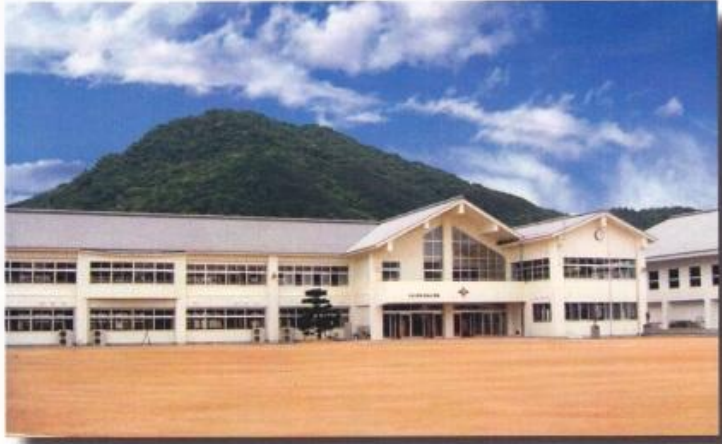


平成25年度

学校要覧



学校教育目標

自ら学び、生きる力をもつ児童の育成

一 今 心の中 芽生え始めた私の夢があるよ
あの海の彼方に 私の描いた未来を 探しに行こう
朝日が 水面を照らし 銀にきらめくように
私も 輝いていたいな
砂浜に強く生きる浜肌顔のように
明日に咲こうよ 津田小学校

二 今 この地球で 君と出会えた奇跡を感じながら
さあ 船を出そう 船先を希望の島に向けるのさ
みんなの力をあわせ 高いマスト立てよう
逆巻く風を受けて進むよ
どんな荒波が来ても 君がそばにいるなら
乗り越えていける 津田小学校

校歌

作詞 白川 恵介
作曲 白川 恵介

さぬき市立津田小学校

〒769-2401

香川県さぬき市津田町津田144番地

電子メール tsuda-es@sanuki.ed.jp

ホームページ <http://www.sanuki.ed.jp/tsuda-e/>

校区の概要

津田小学校は、さぬき市の東部に位置し、津田湾(蟹甲湾)を囲む最大幅2km、南北12km、面積13.44km²、世帯数2,902戸、人口7,064人の町である。(平成25年2月28日現在)
かつて、西日本一のサケ・マス遠洋漁業の基地として栄えた本町は、今日、農・漁業の多角化と商工業の近代化をめざしている。また、樹齢300年余の老松約2,800本をもつ津田の松原は、夏になると県内外から多数の海水浴客を迎え、観光の町としても発展しつつある。さらに、平成12年3月には、高松自動車専用道路の開通、平成14年4月にはさぬき市としてスタートするなど、津田小学校区は、交通の便利な都市近郊的な地域になりつつある。

学校の沿革

明治 維新 郷校立教館本町観音堂に設けられる。
明治 6年 2月 琴林小学校と改称し、松原常楽寺書院を校舎とする。
明治17年10月 松原入口に新校舎建築。18年2月開校。
明治19年 4月 津田尋常小学校と改称。
明治30年 4月 津田鶴羽組合立津田高等小学校を下里に設置。
明治38年 4月 津田尋常高等小学校と改称。
明治41年 5月 校舎建築着工。明治42年3月落成。
昭和 7年 創立60周年記念行事として校章制定。
昭和16年 4月 津田国民学校と改称。
昭和22年 4月 津田小学校と改称。
昭和28年11月 創立80周年記念行事として校歌制定。
昭和32年12月 昭和31・32年度香教委研究指定校として、道徳教育研究発表会を開催。
昭和33年 3月 校舎改築工事に着手。
昭和38年10月 昭和37・38年度香教委研究指定校として統計教育研究発表会を開催。
昭和39年11月 昭和38・39年度香教委研究指定校として放送教育研究会四国大会を開催。
昭和44年 2月 校旗制定。
昭和46年10月 学校給食優良校として文部大臣表彰を受ける。
昭和47年10月 プール完成。
昭和47年11月 創立100周年記念式典を行う。
昭和48年11月 昭和47・48年度香教委研究指定校として、保健教育研究発表会を開催。
昭和48年11月 保健活動優良校として表彰を受ける。
昭和48年12月 学校体育優良校として、香教委教育長より表彰を受ける。
昭和49年11月 全日本健康優良学校表彰を朝日新聞社より受ける。
昭和49年12月 香川県健康優良学校(県1位)として表彰を受ける。
昭和51年11月 健康優良学校(全日本1位)として表彰を受ける。
昭和52年10月 全日本健康教育発表大会(全国大会)を開催する。
昭和52年12月 全国書写コンクール優良校として表彰を受ける。
昭和53年 7月 校舎増改築工事に着手。
昭和56年12月 香川県交通安全教育優良校として、香教委教育長より表彰を受ける。
昭和58年 9月 トランペット鼓隊発足。
昭和61年 8月 島根県佐田町内小学校との交流会が始まる。
昭和63年 1月 全日本交通安全協会より全国交通安全優良校表彰を受ける。
平成元年 1月 よい歯の学校(県1位)として表彰を受ける。
平成 2年10月 香小研の指定により、理科教育研究発表会を開催。
平成 2年11月 「津田小まつり」を始める。テーマ「未来に残そう みどりの地球」
平成 4年 5月 文部省指定「社会の変化に対応した新しい学校運営等に関する調査研究協力校」となる。
平成 5年 6月 プール改修工事。
平成 6年11月 学校評教育研究発表会(長尾・津田グループ)開催。
平成 7年10月 大川郡学校給食研究会開催。
平成 8年 7月 インタホン改修工事。香川県小学校夏季研修会道徳部会会場校となる。
平成 9年 8月 香川県小学校夏季研修会社会科部会会場校となる。校舎北棟外壁塗装。
平成10年 4月 北山小学校と統合。
平成10年 7月 「海をきれいにするための奉仕活動」で運輸大臣表彰を受ける。
平成11年 8月 児童用パソコン21台、パソコン室に設置。
平成12年 2月 学校保健委員会再発足。
平成12年 3月 給食用リフト設置。津田町学校給食センター閉鎖。
平成12年 4月 総合的な学習の時間実施。新教育課程総合推進研究指定(県教委)第1回学校評議員会開催。
平成14年 1月 市制に伴い、さぬき市立津田小学校となる。
平成15年 9月 正門に防犯カメラ、各教室に防犯ブザーを設置。
平成16年 6月 地域の環境美化につとめた功績により、環境大臣表彰を受ける。
平成16年 7月 北海道剣淵小学校との交流事業が始まる。
平成16年10月 香小研の指定により、音楽教育研究発表会を開催。
平成16年10月 校舎改築工事に着手。
平成17年12月 校舎落成。(鉄筋コンクリート造2階建、全館冷暖房完備、バリ77リ-)
平成18年 2月 屋内運動場完成。(鉄筋コンクリート造2階建)
平成18年10月 パソコン室整備。(児童用40台)
平成19年 1月 プール完成。
平成21年 1月 ステップアップスクール推進事業終了。「香川の教育づくり発表会」にて発表。
平成21年10月 新校歌完成、披露。
平成22年 4月 鶴羽小学校と統合、「出発式」を挙げる。

学校経営の基本方針

夢と力をはぐくむ学校づくり

- ＜確かな力＞
- 基礎的・基本的な知識技能の習得と活用力の育成
 - * 少人数指導などの指導体制
 - * 習熟度に応じた指導方法の工夫・改善
 - * 教育活動全体の中で言語活動を充実による思考力・判断力・表現力の育成
 - * 多くの教師の目で児童に対応し、複眼的な実施把握と支援・評価の工夫
 - * 朝の読書やドリル学習の充実
 - 学習集団づくりと自ら考える力の育成
 - * 学習習慣の定着
 - * 体験的・問題解決的な学習の工夫と充実
 - * 地域から学ぶ総合的な学習の時間
 - 読書指導の推進と読書に親しむ図書環境づくり
 - 情報活用と情報モラルの育成
- ＜心の教育＞
- 全教育活動と結んだ道徳の時間
 - * 体験活動(奉仕活動など)
 - * 道徳推進教師・心のノートを活用
 - 道徳の日の設定、心の先生との授業
 - 生徒指導体制の充実
 - * 自己存在感が味わえる学級づくり
 - * 生活習慣の定着
 - 人権・同和教育の推進
 - * 人権意識を高める日常指導
 - * 「心の花を育てよう週間」の設定
 - 音楽活動や表現活動、体験活動を通じた感性を育てる教育の推進
 - 生き方に学ぶキャリア教育
 - ＜確かな心＞
 - 遊びや運動機会の増加による体力増進
 - 自己健康管理能力の育成
 - 体験的食育の推進
- ＜開かれた学校＞
- 校内に開く
 - * 児童に開き、存在感が味わえる学級・学校
 - * 教職員に開き、情報を共有することで協働する学校
 - 家庭に開く
 - * 学校・学級情報の公開
 - * 学校公開日の設定
 - * 家庭の教育力の向上
 - * 3者懇談会、PTA活動の充実
 - 地域に開く
 - * 情報誌の配布
 - * 地域の教材化・人材活用
 - * 学校評議員制度の活用
 - * 幼小・小中の連携と交流
 - * ホームページの都度更新
- [評価を受け、柔軟に対応する学校づくりの推進]



学校教育目標

校訓 剛健・清楚・和衷協力

自ら学び、生きる力をもつ児童の育成



＜確かな学力の向上を図り、豊かな心を育てる学びの創造＞

教育環境・施設設備	サービス・校務分掌・その他
<p>【信頼される学校のために】</p> <p>①心とむ学校 * 感性豊かな空間づくり * 整理・整とん * 話し合い</p> <p>②教育環境 * 教育資源の活用</p> <p>③教材・教具 * 開発教材と教育機器の積極的な活用</p> <p>④施設設備 * 安全基準を基に整備した施設有効活用 * 校舎利用・危機管理マニュアルの設置</p> <p>⑤学びと潤いのある校舎の活用</p>	<p>【信頼される学校になるために】</p> <p>①厳正なサービス * 教育公務員としての自覚と責務の遂行</p> <p>②協働体制 * 報告・連絡・相談の徹底 * 主体的な職務遂行とチーム力の発揮</p> <p>③学校事務 * 事前相談と調整、適正な執行</p> <p>④時代の流れに順応した運営 * 変化に対応できる教職員意識の革新 * 課題把握による具体的改善事項の提案と実践力</p>

＜人間力＞

＜学校力＞

＜教師力＞